

大窪光教授の退職記念号によせて

熊本学園大学 学長 細 江 守 紀

大窪光先生は、1974年3月に中央大学理工学部管理工学科をご卒業後、慶応義塾大学大学院工学研究科管理工学専攻に進学され、数理工学専攻修士課程への移籍を経て1977年3月に同研究科の数理工学専攻修士課程を修了されました。また、1981年3月に同研究科博士課程を単位取得退学後、1985年4月には工学博士の学位を慶応義塾大学より授与されています。

1977年4月より、統計学の非常勤講師として慶応義塾大学医学部附属厚生女子学院と国家公務員共済連合会立川病院附属立川高等看護学院へお務めになった後、1985年4月から1988年3月まで（株）コンピュータ教育工学研究所の専務取締役役に着任されました。また、同時期に目白学園短期大学の非常勤講師として情報処理を担当されています。

本学には、1988年4月に熊本商科大学の商学部助教授として着任されました。1991年7月には教授へと昇格され、ご多忙な中、1994年1月から1995年12月まで情報教育センター長、1996年1月から1997年12月まで経営学科長、そして2008年1月から3月まで商学部長をお務めになりました。

先生のご専門は確率論であり、統計学やデータ解析、経営統計論などの統計経営学に関する科目を担当され、研究成果は高著『マーケティングとコミュニティ』（同文館出版、1997年）に結実しました。この他にも、業績一覧にある多数の学術論文や学会報告に見られるとおり、長年にわたって統計経営学の研究を続けておられます。

先生は愛媛県松山市のご出身で、学生時代はラグビー部に所属されたとお聞きしています。力強く、大らかなお人柄は、温暖な気候の土地で育まれたものかも知れません。多くの教職員、学生にも先生との良い思い出が残っているのだらうと察します。また、教育研究の傍ら、地域の教育活動にも熱心に取り組まれ、小学校のPTA会長もお務めになりました。

1988年より長年にわたって本学の発展にご貢献いただいた大窪先生は、2020年3月をもってご退職となりました。先生の残された財産を大切に活かして、地域においてさらに輝く大学へと発展させていくことが後進としての私たちの役目です。

大窪光先生の今後のご健勝とご活躍を心より願ってご挨拶に代えさせていただきます。